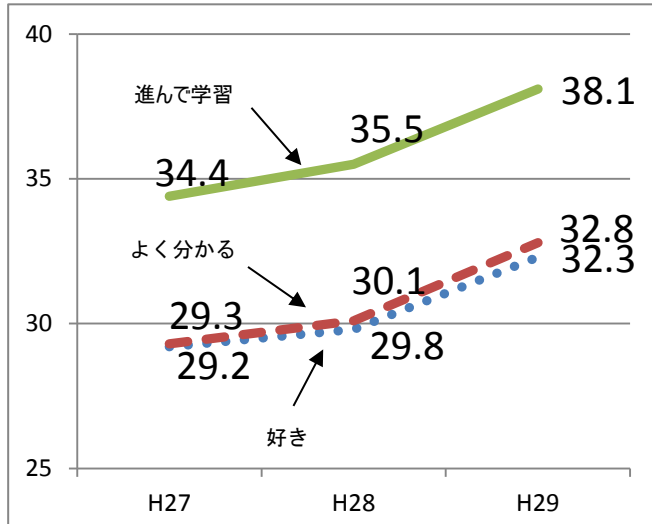


4 質問紙調査・英語教育実施状況調査から

■英語の勉強が「好き」、授業が「よく分かる」、
「進んで学習しようとしている」生徒の割合が
少しずつ増えています。

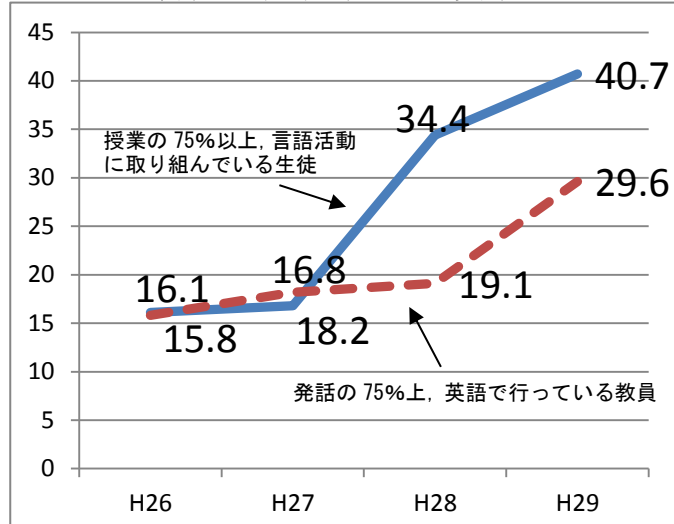
※いずれも、「当てはまる」を回答した生徒の割合（「どちらか」というと当てはまる」は除外）



(平成 27～29 年度 県学習状況調査「生徒質問紙調査」から)

■授業における「生徒の言語活動に取り組んでいる割合」と「教員の英語使用の割合」が増えています。

※どちらも全国平均を5～10%以上上回る (H26～H28 実績)
※H29の全国平均は未公開 (H30.2.20 現在)



(平成 26～29 年度 英語教育実施状況調査 (文部科学省実施) から)

5 自校の調査結果をチェックしましょう。

今回の結果からみられる自校の課題を取り上げ、来年度に向けた指導改善事項を確認しましょう。

《自校の課題》

★課題となっていることの要因や背景

1 生徒の実態から

2 教師の指導から

☆指導上の改善点 (見届けの徹底を図るための場や方途)

英語の授業では、

平成29年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査

指導改善資料 英語編

平成30年3月 岐阜県教育委員会

1 結果の概要

中学校第2学年

県平均正答率 55.8%

A 問題 62.1%

B 問題 42.5%

自校平均正答率 []%

A 問題 []%

B 問題 []%

2 指導改善の重点として取り組んできたことの成果

*「これまでの調査」の問題番号中にある「県」は県学習状況調査、「全国」は全国学力・学習状況調査を指す。

経年でみて、成果といえること (岐阜県の強み)

問題番号	平成29年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査		これまでの調査				
	出題のねらい・意図		自校	県	問題番号	自校	県
中2 [1]1	過去の動作を表す語 (went, enjoyed) と日付 (Jun 13th) を手がかりにして、様子を正しく聞き取ることができる。		%	75.9%	H28 県 [1]1	%	82.2%

これまで課題としてきたことのうち、改善の兆しがみられること

問題番号	平成29年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査		これまでの調査				
	出題のねらい・意図		自校	県	問題番号	自校	県
中2 [5]4	動名詞を正しく理解し、適切な語を選ぶことができる。		%	69.0%	H28 県 [5]2	%	50.9%

3 調査結果と今後の指導改善の重点として取り組むこと

■課題として捉えられること

問題番号	平成29年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査			これまでの調査			
	出題のねらい・意図		自校	県	問題番号	自校	県
中2 10	自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように文と文のつながりなどに注意して、5文の英文で書くことができる。【分量・表現】		%	[分量・表現] 26.4%	H28 県 10	%	[分量・表現] 25.0%

ポイント1

自由英作文で1～2文しか書けない生徒の「書く力」を高めましょう。
～書かせる「前」と、書いている「最中」と、書いた「後」の指導を通して～

■授業アイデア例

「書くこと」の指導として、授業終末に「話したことを書かせる」指導が定着しています。しかし、その指導を続けても、自由英作文で1～2文しか書けない生徒が減っていないならば、やり方をもう工夫し、長いスパンでの見届けを！

お薦めの日本文化について、せめて5文は書けるようになりたい！どうすればいいの？



授業終末に「書くこと」が位置付けられている指導過程例

- Small Talk (8分)
- 導入 (2分)
- 対話活動 (5分)
- 中間指導 (5分)
- 対話活動 (5分)
- 話したことを書く活動 (20分)
- 振り返り (5分)

書く前 ポイント：表現させたいことを踏まえ、やり取りをする。

例) NEW CROWN 2 Lesson 3 USE Write (p.32-33) 対話例

Teacher: What can you do for the earth? ←結論を聞く
Student: Less trash.
T: Why do you think so? ←理由を聞く
S: Gifu river, trash, I'm sad.
T: What can you do for less trash? ←具体例を聞く
S: Use eco-bag, shopping.

例) 終末の筆記
I'll tell you about my idea. I can make less trash for the earth. There is much trash along Gifu river. I'm sad. I can use eco-bag at shopping.

対話で話させることと終末に書かせる英文（「終末の筆記例」）を教師がイメージして、やり取り（質問）をしましょう。質問（関連質問）については、Small Talkで継続的に指導できます！

書く時 ポイント：一語（二語）文でも気にせず書くよう促す。ただし「結論→理由」の順序は意識させる。

指示 (2分)
↓
書く (5分)
↓
中間指導 (3分)
↓
書く (10分)

一定程度の量を書く（書ける）喜びを味わうことができるようにしましょう。以下のような筆記でも、書いた事実と一緒に喜び大いに認めましょう。ただし、全体の構成は意識させます。

Less trash. Gifu river, trash, I'm sad. Use eco-bag, shopping.

結論 理由 具体例（今後すること）

書いた後 ポイント：語順と主述関係を意識して一語（二語）文を正確な英文に直させる。

- グループ（ペア）学習で、「語順」と「適切な主語と動詞の決め出し」の2点から見直しをさせます。
- 書きたいけど英語で書けない「困り感」を取り上げます。
- 始め方や終わり方は、定型フレーズとして教えます。

「①まず書かせ→②指導し→③再度書かせる」の指導過程は、Small Talkと同じです！

■その他、関連した指導について

文法上の誤りに自分で気付くことができるようにする指導（「H26, 27 指導改善資料」参照）

■課題として捉えられること

問題番号	平成29年度 岐阜県における児童生徒の学習状況調査			これまでの調査			
	出題のねらい・意図		自校	県	問題番号	自校	県
中2 31	対話の内容から、1時間後に何をするか聞き取る。		%	42.4%	H28 県 31	%	90.3%
中2 41	説明している内容を理解し、中心となる話題を尋ねる質問に適切に答える。		%	47.7%	H28 県 42	%	59.8%

ポイント2

英語を聞き取る「耳」（力）を育てましょう。
～「活動」と「トレーニング」を通して～

■授業アイデア例

「聞くこと」の能力を身に付けるためにどんな指導をしていますか？
→「本文読み取り前の導入段階で英語を聞かせている。」「クラスルームイングリッシュを多用している。」「Listeningに特化した単元をちゃんと扱っている。」…あともう一步の充実を！

英語を聞き取れるようになりたい！どうすればいいの？



活動編

ポイント：目的をもった聞き方をさせる。

例) NEW HORIZON 2 Unit 6 Activity 1 (p.88)

目的①：英語落語を始めた年齢を捉える
目的②：英語落語をしようとした理由を捉える
目的③：海外でのおもしろい体験を捉える
目的④：What do you think of Mr. Katsura?

目的①～③は教科書どおり。目的④はオリジナル。アウトプットすることも、「聞くこと」の能力の一つなので、④のような目的も必須です！

コミュニケーション能力の基礎を養うための「聞き取り」

これまで(H元年学習指導要領以前) 現在(平成元年学習指導要領以降)

「聞くこと」の能力 「聞くこと」の能力

情報、概要 情報、概要

外部の知識・経験等 外部の知識・経験等

考え、気持ち 考え、気持ち

日本語で 日本語で

日本語で 英語で

英語で コミュニケーション(=外国語教育の目標)

スク립トの理解(=外国語教育の目標)

トレーニング編

ポイント：ディクテーションを実施。

例) NEW CROWN 2 Let's Listen 3 (p.51)

教科書の活動をディクテーションに変更
「観光案内でどんな表現が使われていたか、もう一度聞いて確認してみよう。」
⇒「話されている英語を書いてみよう。」

<難易度を調整するための工夫>

- グループ活動にする。
- ・各自メモ。→メモを基にグループで英文再現。
- 括弧穴埋め式のプリントを準備する。

ポイント：段階的・確実な音読指導。

- CDから聞こえたとおりにリピート（発音、リンキング、区切り、イントネーションに留意）。
- 教科書を閉じて、CDから聞こえる英語に続いて言う（シャドーイング）。

ポイント：教師も発音等を練習。

- Teacher Talkでは、内容の伝え合いを重視した上で、音声の特徴（発音、リンキング、区切り、イントネーション）にも十分留意して話す。

■その他、関連した指導について

多様な音読指導（「H26 指導改善資料」, 「H26 外国語（英語）科における3つの見届ける」参照）